

欧米視察 100年～6,000億円の芝居見物～

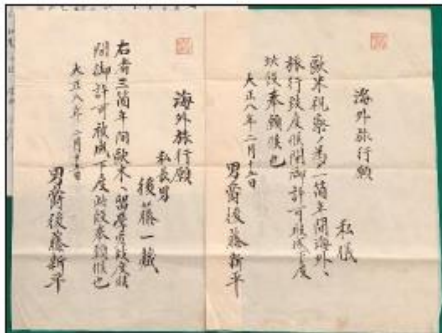
併催＜改元記念特別展＞

「明治・大正・昭和天皇に関わるエピソード」



本年度第2回目の標記企画展を開催したところ、期間中1,640名のご来館をいただきました。ありがとうございました。第3回目の企画展は、1月10日(金)～3月8日(日)まで「和子夫人の生涯～新平を支え続けた大和撫子～」と題して開催する予定です。また、第2弾のシリーズ＜後藤新平人脈考＞として、「永田秀次郎」を取り上げます。第2回企画展の開催期間終了後も、第3回目の企画展準備期間として、暫時展示の継続をしております。お見逃しの方は、ぜひ、お立ち寄りください。

展示資料1 海外旅行願 (新平と一蔵)



後藤新平と一蔵の海外旅行願
(大正八年二月十五日)
和紙三枚

展示資料2 領事館発行の査証



外遊時の旅券下書き・和紙
墨筆二枚(大正八年二月)
横浜仙国領事館発行の査証二枚、在東京スイス公使館発行の査証二枚

世界の多くの国々を巻き込んだ第一次世界大戦の終結から4ヶ月後の大正八年三月四日、新平と嗣子一蔵・新渡戸やその愛弟子等の二三八日間の旅がスタートしました。

展示資料5 アメリカの新聞掲載 (新聞切抜き冊子)

伯の在米中米新聞に現れたる記事は枚挙に暇ないほど多数に上る。展示資料は、そうした新聞切抜きの一つ。下は、6月15日の「ニューヨーク・トリビューン」の日曜版に掲載されたもの。

ルーズベルトの特色中よりその人望と精神的将器とを取り、ハリマンの実行力の多分をこれに加えた如き人、そうしてかかる特質により、国務を敢行し、遂に党派的背景もなく、全く自力をもって最高人物の一人となり、しかも、世界改造の一大危機に際会して、各党派が甘んじてその統率と指揮とに服した程の人を頭に想像せよ。・・・この人こそ、日本政界の長老、植民、鉄道の為政家、近く多難なりし大戦の末期と平和会議の準備時代とに外務大臣たりし後藤新平男である。



後藤新平は、「この行三人の偉人に会す」と称し、「エジソン」「モット」「バーバンク」の名を挙げました。この三人の写真資料等は、二階常設展示コーナーにあります。

【大正天皇】(即位の大典参列)

《大正天皇即位の大典に和子夫人も参列》

和子夫人が新聞記者に語った言葉。

「袴袴(婦人の和装礼服)の色はくすんだ紫色を選びました。髪が少ないのでおすべらかに結うのかどうかと心配致しましたが、前髪の形さえ出来れば略式で差支えないとの事ですから、先達てからセッセと娘に稽古させました。娘も段々上手になりましたので、知らない土地に来て馴れない髪結いさんに彼れはれ小言を言うのも厭ですし、時間の都合なども旨く行かないと思って娘を連れて参りました。」

(大正4年11月6日「大阪朝日新聞」)

資料16

大正天皇御聖影



資料17

大正皇后御聖影



明治天皇御聖影とサンフランシスコの晩餐会で新平が紹介した明治天皇和歌、昭和天皇の皇太子時代の視察等の写真、「関東大震災の復興計画とその後の復興についての復興計画」等も紹介しています。